

平成20年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金
（老人保健健康増進等事業）
訪問看護事業所の機能集約及び基盤強化促進に関する
調査研究事業

別法人の訪問看護事業所の ネットワーク化に向けた試み

岐阜班代表者

後閑容子(岐阜大学)

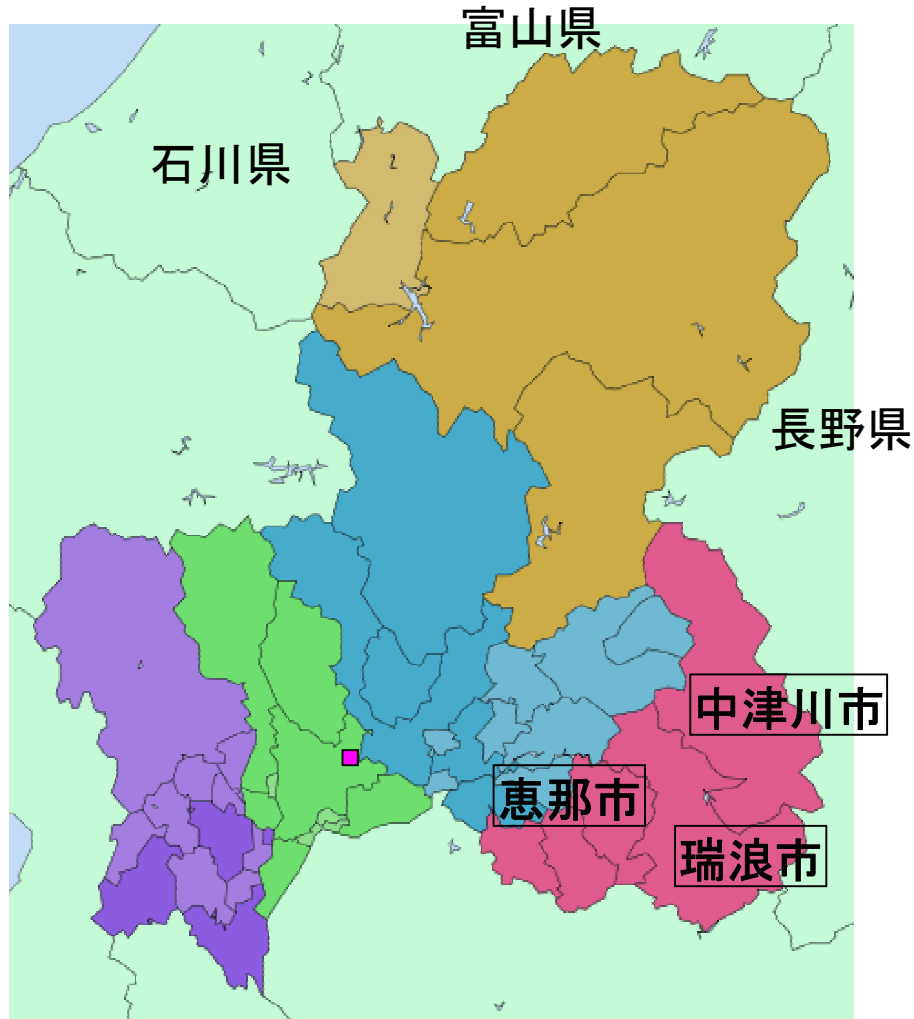
野崎加世子(岐阜県看護協会立訪問看護ステーション統括所長)

発表者 石原多佳子(岐阜大学)

事業の目的

1. 事務職を雇用し、どのような効果が出るか明らかにすると共に、今後ネットワークを組み、共同連携して行なえる事務作業の内容や方法を抽出する。
2. 新人職員教育を合同で行ない、どのような効果があるか明らかにすると共に、今後ネットワークを組み、共同して職員教育を実施していく上での方法を考案する。

モデル地域の概要



平成20年12月現在

	人口(人)	老年人口割合 (%)
中津川市	82,806	26.7
恵那市	54,491	28
瑞浪市	41,372	24.6

※ 3市には厚生連と自治体立の200床規模の病院が計4箇所あるが、開業医の在宅医療への取り組みは未だ少なく、往診や在宅での看取りを行なう医師は少ない

訪問看護ステーションが抱えている問題

- ①小規模ステーションが多い→管理者の負担大が大きい、経営が安定しない、病院がバックにないので利用されにくいし、連携もとりにくい
- ②看護の質にばらつきがあり、特に新人看護職は在宅についての知識や倫理観が少ない
- ③個々のステーション同士で困難事例の相談、事務処理の相談はしているが、専門的な相談窓口がなく、システム化されていないので効率が悪く、専門的な相談ができない
- ④住民にステーションの持ち味を十分理解されていない、浸透していない
- ⑤療養者を中心とした病院、ステーションの情報の共有化が不十分

管理者が新人看護師に対して思うこと

- ①訪問看護師の心得(臨床の看護との違い)
- ②危機管理の意識をもって欲しい
- ③養成研修に参加してから訪問に行ってほしいが時間がない
- ④身近に研修を受ける場所ができるとうい
- ⑤看護師は研修に参加したい気持ち強い
- ⑥パートの看護師の研修機会がない

モデル事業参加ステーションの概要

場所	ステーション名	法人種別	職員数(常勤換算)	利用者数	新規訪問 件数/月	事務職数
中津川市	A	市	看護師5人 PT2人	107人	10.9件/月	0人
瑞浪市	B	厚生連	看護師5人 PT0.5人	102人	6.5件/月	0.5人
中津川市	C	医療法人	看護師2.6人 PT3人	117人	6.4件/月	0.5人(レセプト専門)
恵那市	D	社会福祉法人	看護師4.8人	40人	2.3件/月	0人
恵那市	E	有限会社	看護師2.5人 PT0.5人	28人	2.2件/月	0人

モデル事業を行うことで期待できる効果

1. 看護師の事務量が減少することで

- ①訪問件数の増加、収益の増加
- ②研修参加機会、学習会や事例検討会等の増加

2. 新人教育の合同実施することにより

- ①研修参加機会の増加
- ②仕事に対する意欲の向上
- ③ステーション間のネットワークができる
- ④ケアの質向上

実施方法

1. 事務職を雇うことで、事務作業の効率化とその影響

1) 全体のながれ

時期	各ステーション		ワーキングメンバー
	事務職	訪問看護師	
介入前 (10月末～11月初旬) ↓	事務職 オリエンテーション	タイムスタディ (6日間)	ミーティング
介入開始 (11月10日～1月9日の8週間) ↓	タイムスタディ (介入した日すべて) 3日間～毎日/週 3～4時間/日	タイムスタディ (16～18日間)	ミーティング
介入終了			ミーティング

①各ステーション毎で雇用した事務職が事務的業務(レセプト請求以外)を行う

業務の例・・・封筒の宛名書き等発送の準備, 指示書や報告

書等の医療機 関別確認, カルテの整理, 留守中の電話の受け継ぎ, 掃除など

●介入開始前: 半日オリエンテーション

●介入期間: 11月10日～1月9日

(土日祭日及び年末年始の週を除く8週間)

●各ステーション毎に毎日～週3回(1回約3時間)事務内容毎に時間数を記載

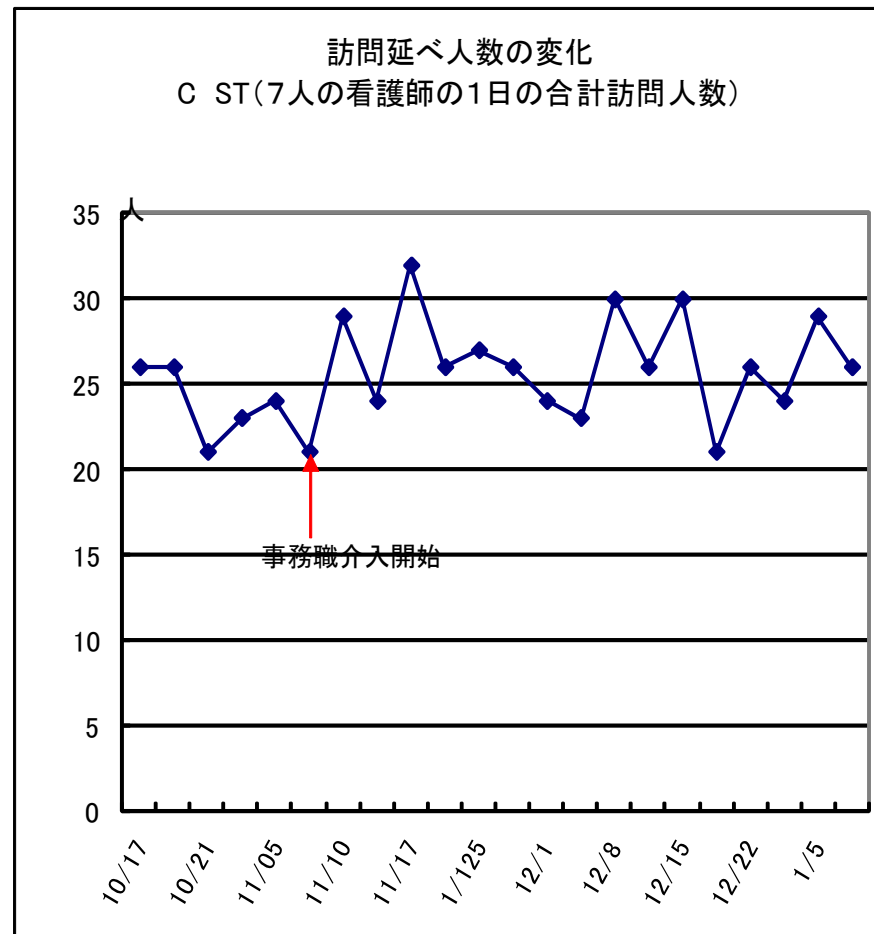
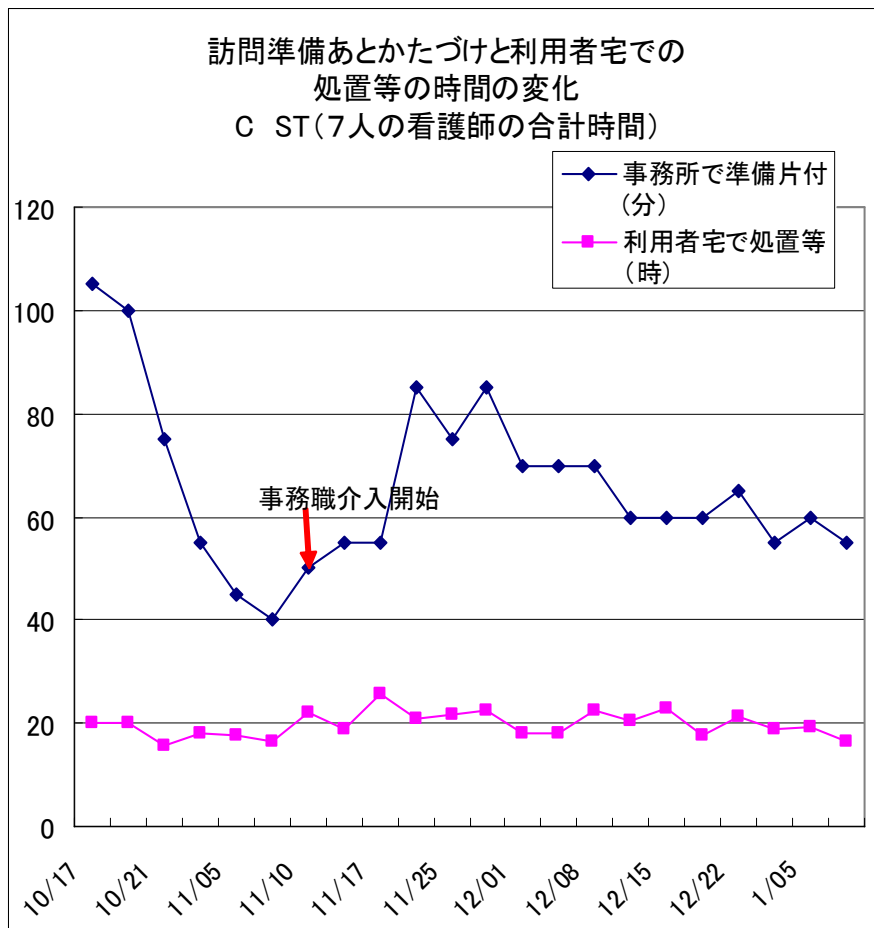
②訪問看護師のタイムスタディによる業務分析

中間結果(C施設の分析結果)

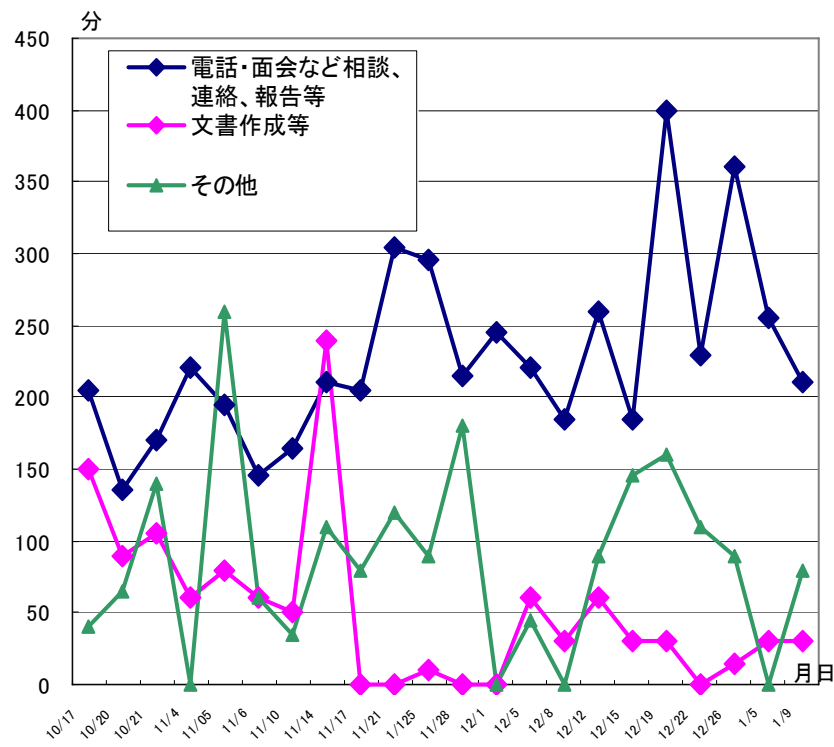
1. 事務職を雇うことで、事務作業の効率化とその影響

		介入前 (10/17~11/6期間中)	介入中 (11/10~1/9期間中)	
		6日間	16日間	16日間
		看護師	看護師	事務職
訪問等	訪問延人数 / 日	23.5	26.4	
	訪問件数 / 看護師1人	3.7	3.8	
	移動時間(分) / 日	452.5	485.4	
	移動時間(分) / 件	19.2	18.6	
	訪問に関する事務所で準備片付延(分) / 日	70	64.4	60
	利用者宅で処置等延(時) / 日	18	20.4	0
	利用者宅で処置等(分) / 件	45.9	46.5	
訪問に関連した作業	電話・面会など相談、連絡、報告等(分)	178.3	246.6	0
	文書作成・確認等(分)	90.8	36.6	59
	その他(分)	94.2	83.4	120
文書・書類作成等	看護記録等(分)	245	233.4	0
	看護記録を除いた書類(分)	264.2	325.9	71.6
作業	パソコン作業(分)	146.7	103.8	90
	その他の作業(分)	57.5	31.6	70

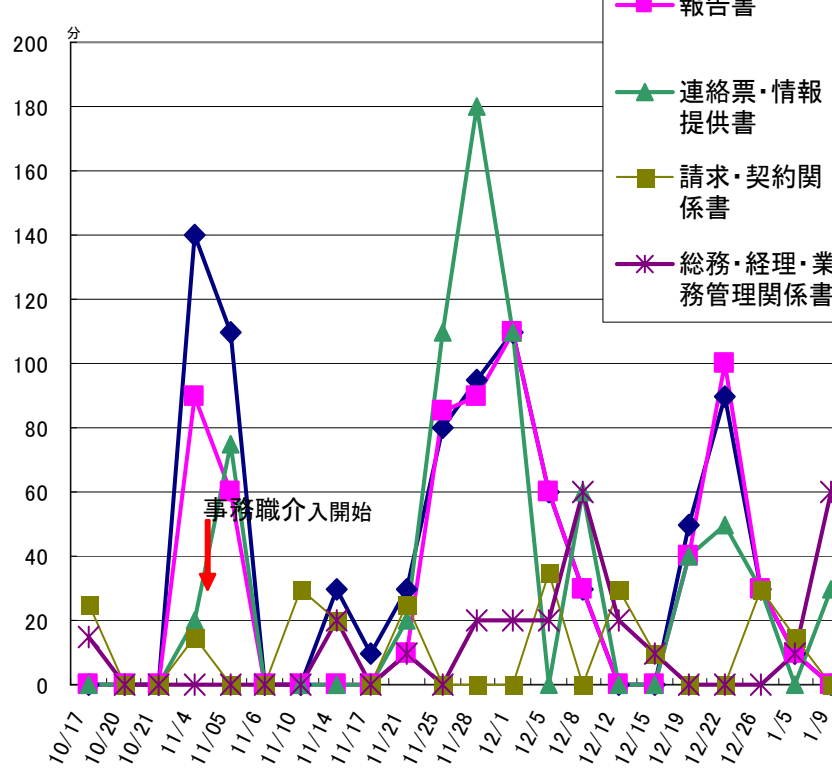
看護記録を除いた書類: 計画書、報告書、連絡票、情報提供書、契約書等



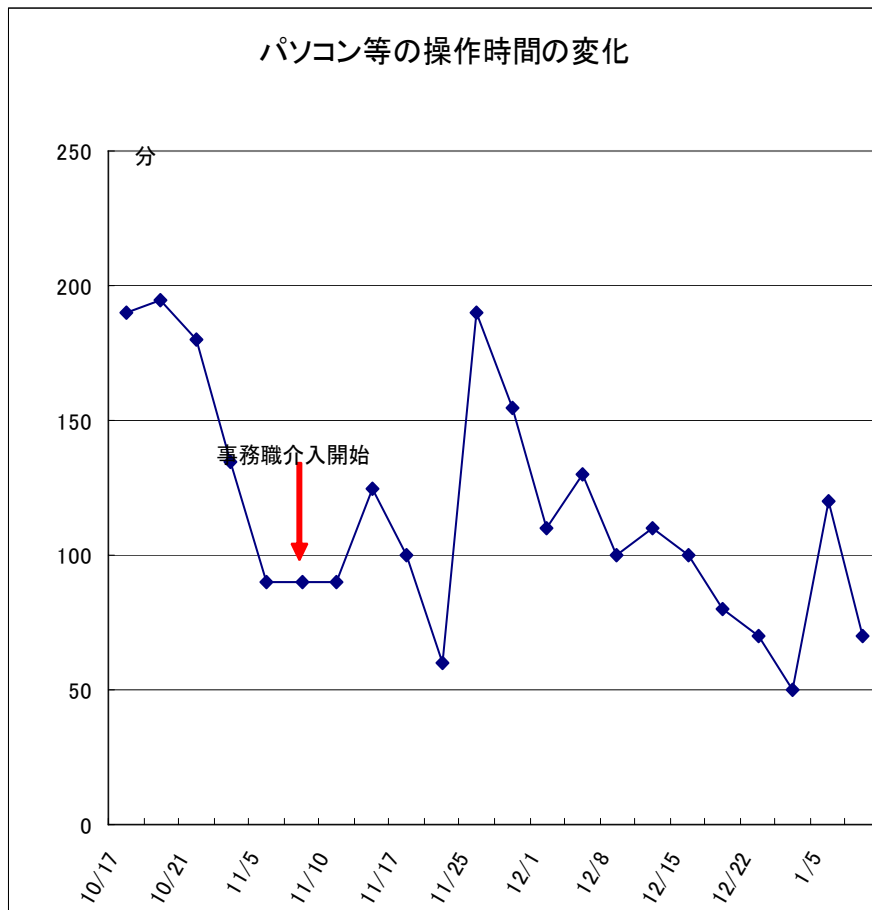
訪問に関わる電話、面会や文書作成等の変化
C ST(7人の看護師の合計時間)



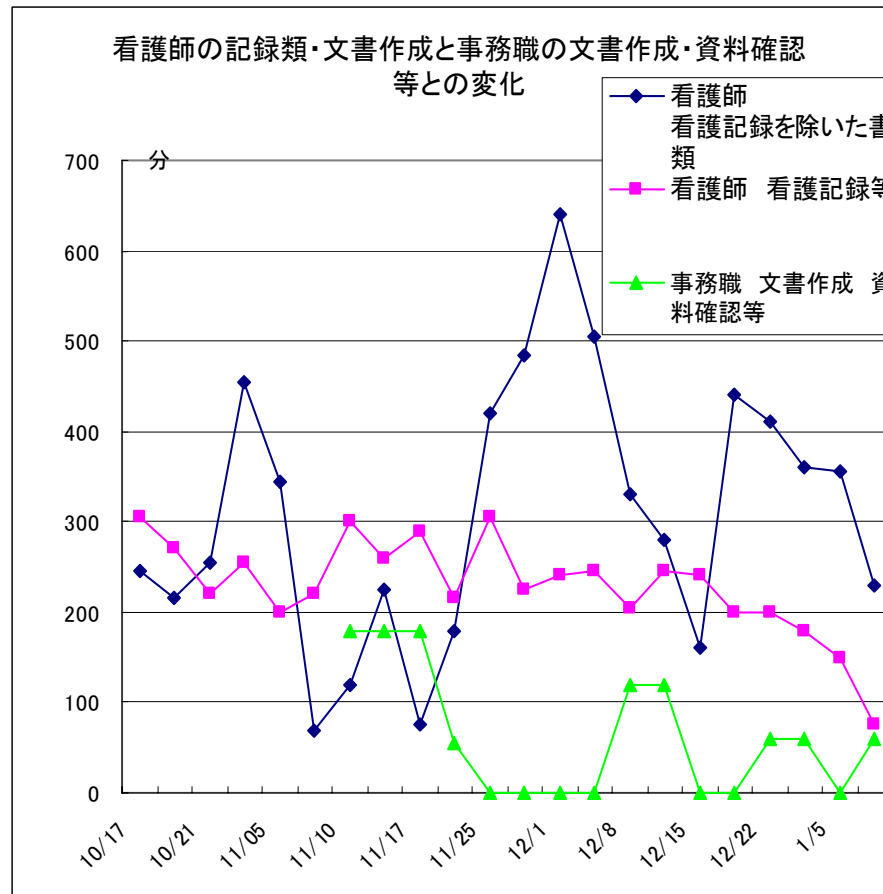
文書等作成時間(訪問看護記録除く)の変化
C ST(7人の看護師の合計時間)



パソコン等の操作時間の変化



看護師の記録類・文書作成と事務職の文書作成・資料確認等との変化



Cステーションのからの結果から

- ①事務職が介入することで1日の訪問件数が増加した
- ②看護師の訪問の準備、後かたづけの時間は、事務職の介入時期が長くなるに伴い減少した
- ③電話・面接など相談、連絡、報告、打ち合わせの時間は、事務職が介入することで増加した
- ④文書作成・書類の確認等は事務職が介入することで減少した
- ⑤看護記録以外の書類等(計画書・報告書・情報提供書等)は事務職介入によりわずかに減少したが、月末から月初めに多くの時間を費やしていた
- ⑥訪問看護師のパソコン等の作業時間は、事務職介入時期が長くなるに伴い減少した

中間結果

2. 新人教育の合同実施による影響及び内容の検討

1) 訪問看護ステーションが抱える新人看護師に関する問題

- ①訪問看護ステーション同士のつながりが希薄
- ②在宅についての知識や倫理観が希薄な傾向にある
- ③研修する機会が物理的にも時間的にもとりにくい

2) 新人教育の合同実施への期待

- ①研修参加機会の増加
- ②仕事に対する意欲の向上
- ③ステーション間のネットワークができる
- ④ケアの質向上

3) 実施

- ① 期間中2回(11月22日、12月13日)研修を実施し参加者にアンケートを実施
- ② 他のステーションと横の繋がりができるように、また行動変容に結びつくように、演習を組み入れた

4) アンケート結果は今後検討する予定である

今後の検討内容の予定

○タイムスタディの分析

入力項目の意味する内容を再検討する

事務職の職種、事務職が入る時間帯及び時期、仕事の内容の検討

○合同教育のアンケートの分析等

ワーキンググループメンバー岐阜班

事業所名	氏名
岐阜県看護協会立訪問看護ステーション	野崎 加世子
岐阜大学医学部看護学科 地域・精神看護学	後閑 容子・石原 多佳子・ 玉置 真理子・瀬瀬 朋弥
有限会社 耕グループ	繁澤 弘子
岐阜県看護協会立 下呂訪問看護ST	中川 奈緒美
みどり訪問ステーション	高田 恵子
岐阜県西濃保健所	池上 由美子
岐阜市役所 介護保険課	細井 智子
えな訪問看護ステーション	山本 悦子
訪問看護ST あゆみ	梅村 奈美子
訪問看護ST ほほえみ	松本 文枝
老人訪問看護ST 城山	富田 好恵
くわのみ訪問看護ステーション	佐々木 詩子